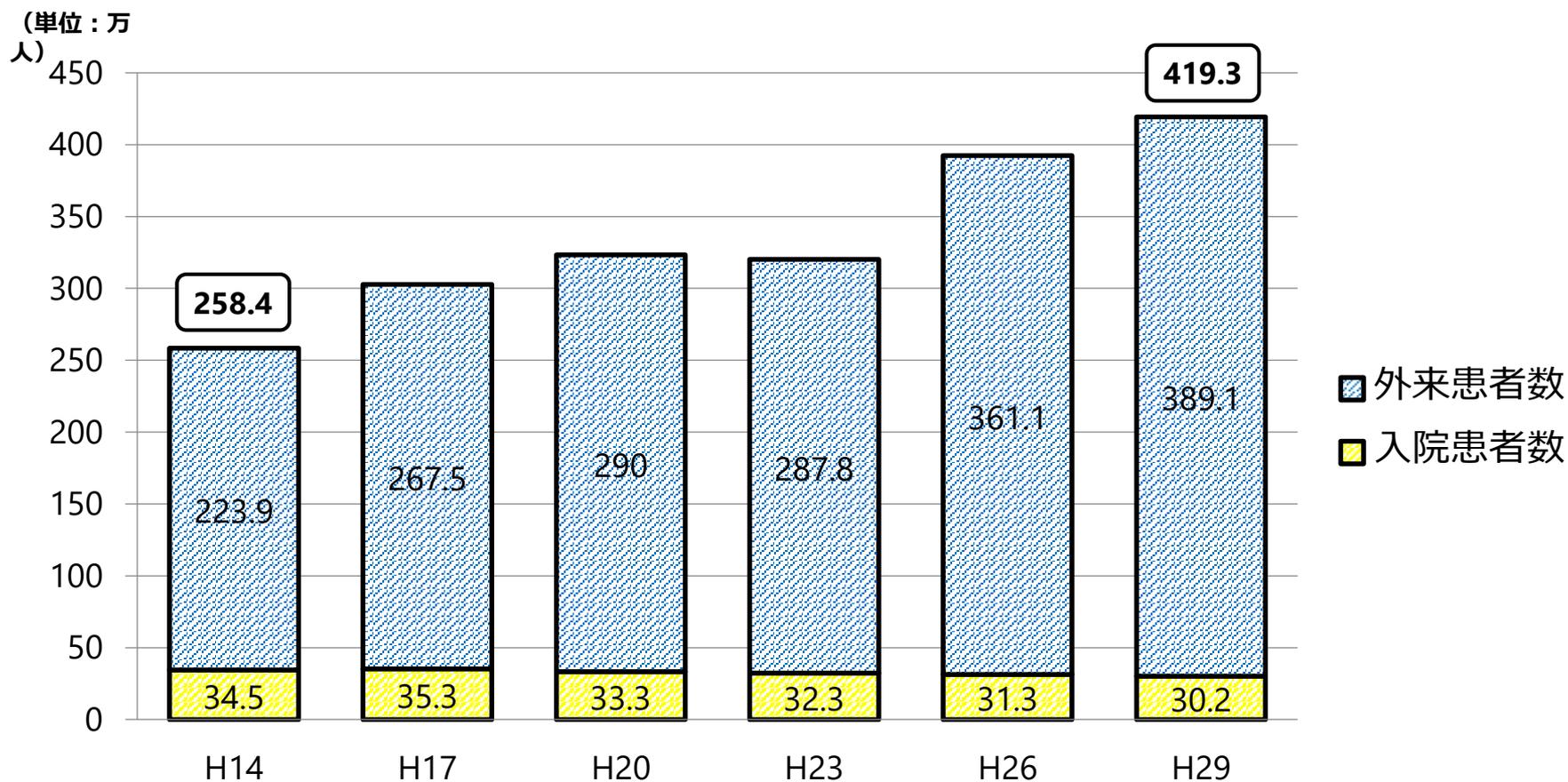


第7次医療計画の指標に係る現状について

精神病床における 急性期・回復期・慢性期入院患者数

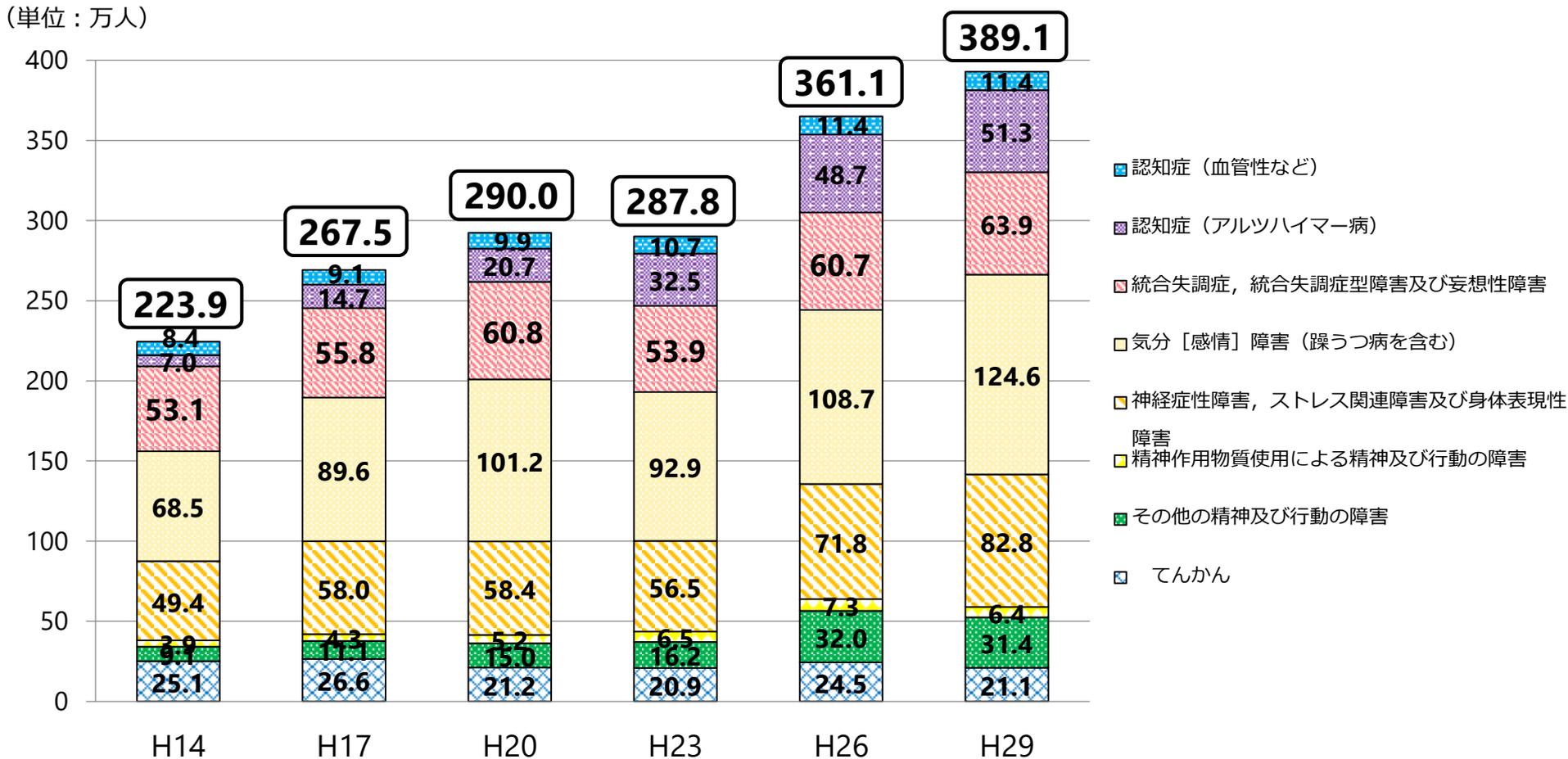
精神疾患を有する総患者数の推移

- 精神疾患を有する総患者数は約419.3万人【入院：約30.2万人、外来：約389.1万人】
※ うち精神病床における入院患者数は約27.8万人
- 入院患者数は過去15年間で減少傾向（約34.5万人→30.2万人【 Δ 約4万3千人】）
一方、外来患者数は増加傾向（約223.9万人→389.1万人【約165万2千人】）



精神疾患を有する外来患者数の推移（疾病別内訳）

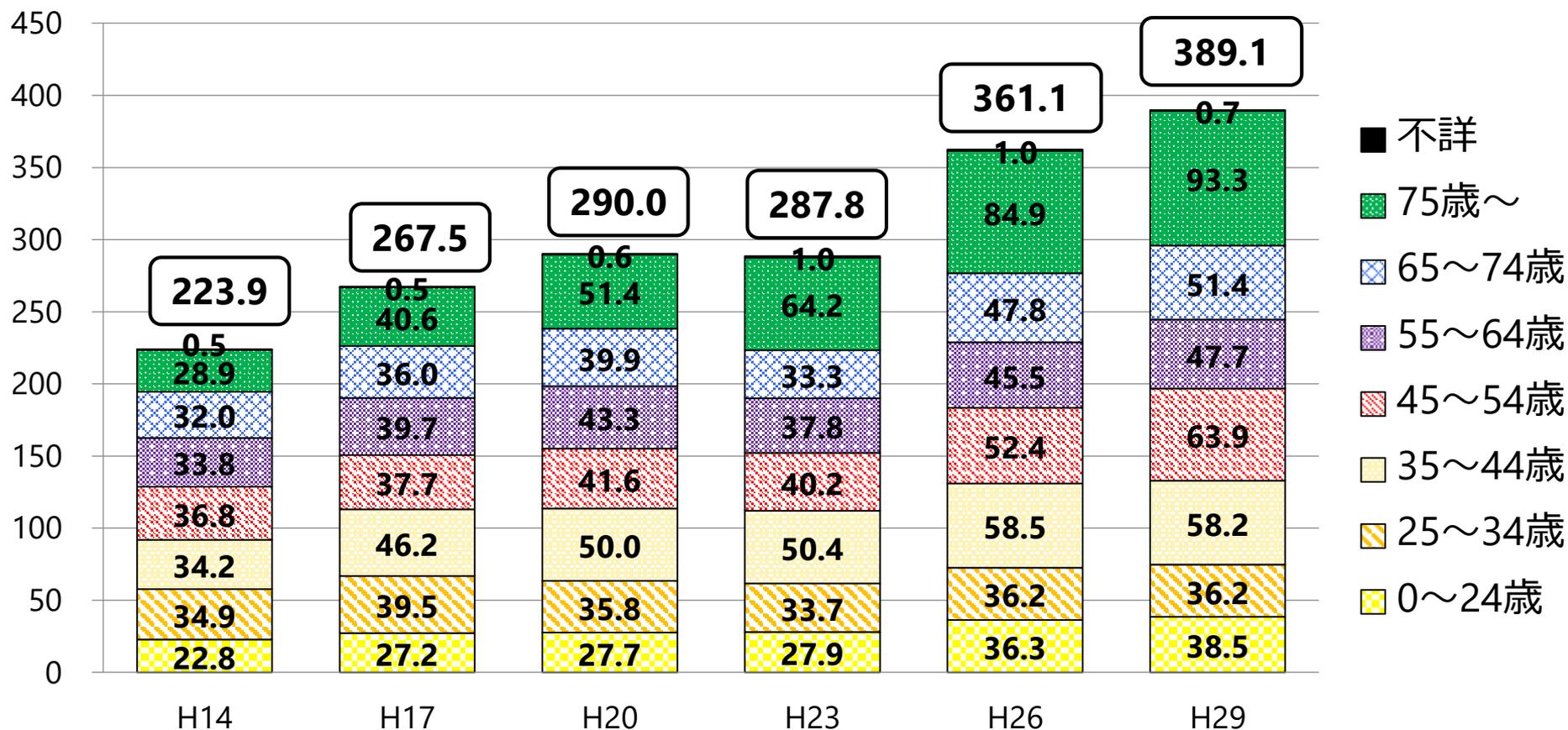
○ 精神疾患を有する外来患者数は、疾病別にみると、特に認知症（アルツハイマー病）が15年前と比べ約7.3倍、気分[感情]障害（躁うつを含む）が約1.8倍、神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害が約1.7倍と増加割合が顕著である。



精神疾患を有する外来患者数の推移（年齢階級別内訳）

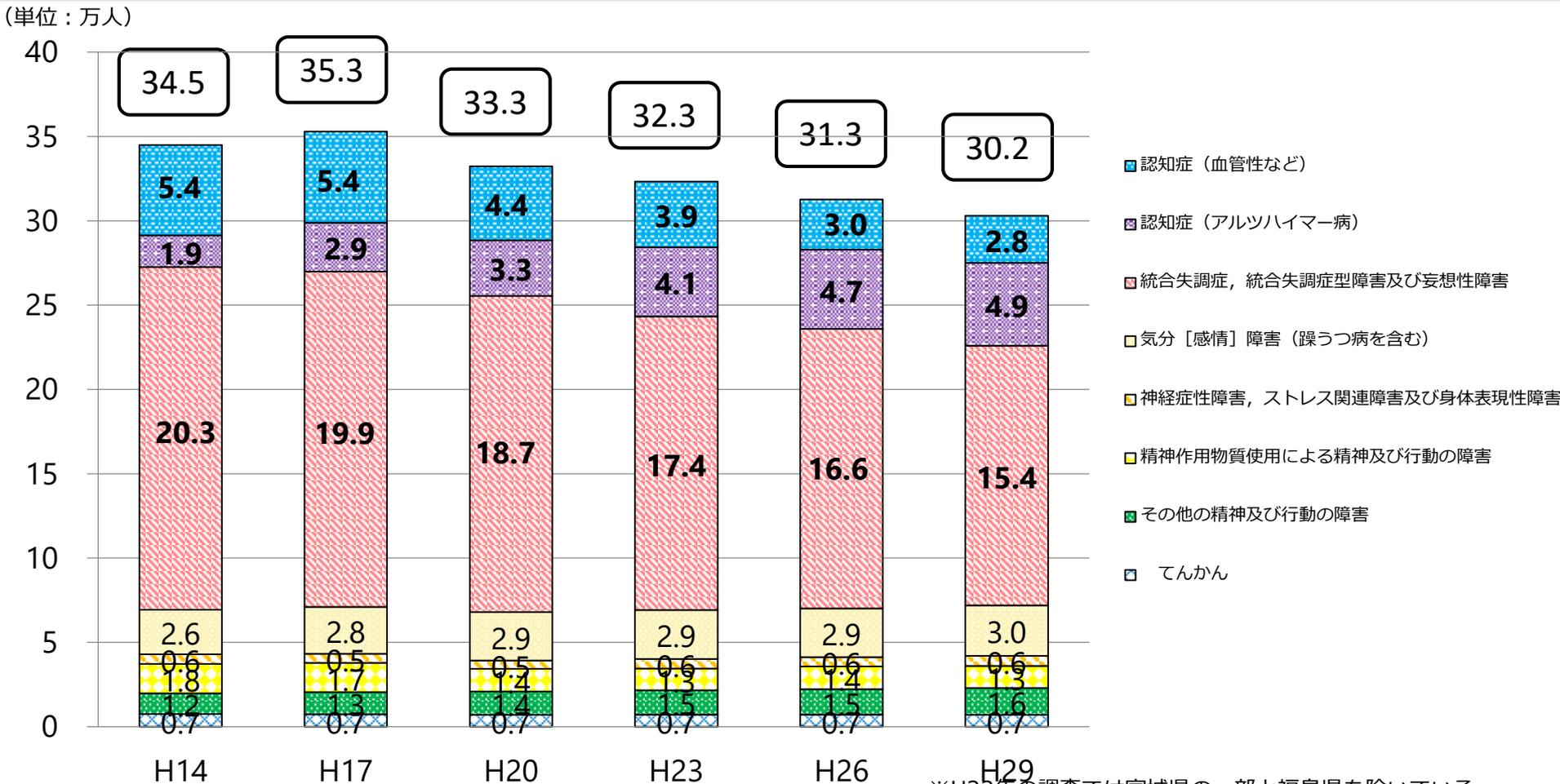
○ 精神疾患を有する外来患者数は、年齢階級別では、全階級で増加傾向であるが、特に後期高齢者（75歳以上）が顕著であり、15年前と比べ約3.2倍に増加している。

(単位：万人)



精神疾患を有する入院患者数の推移（疾病別内訳）

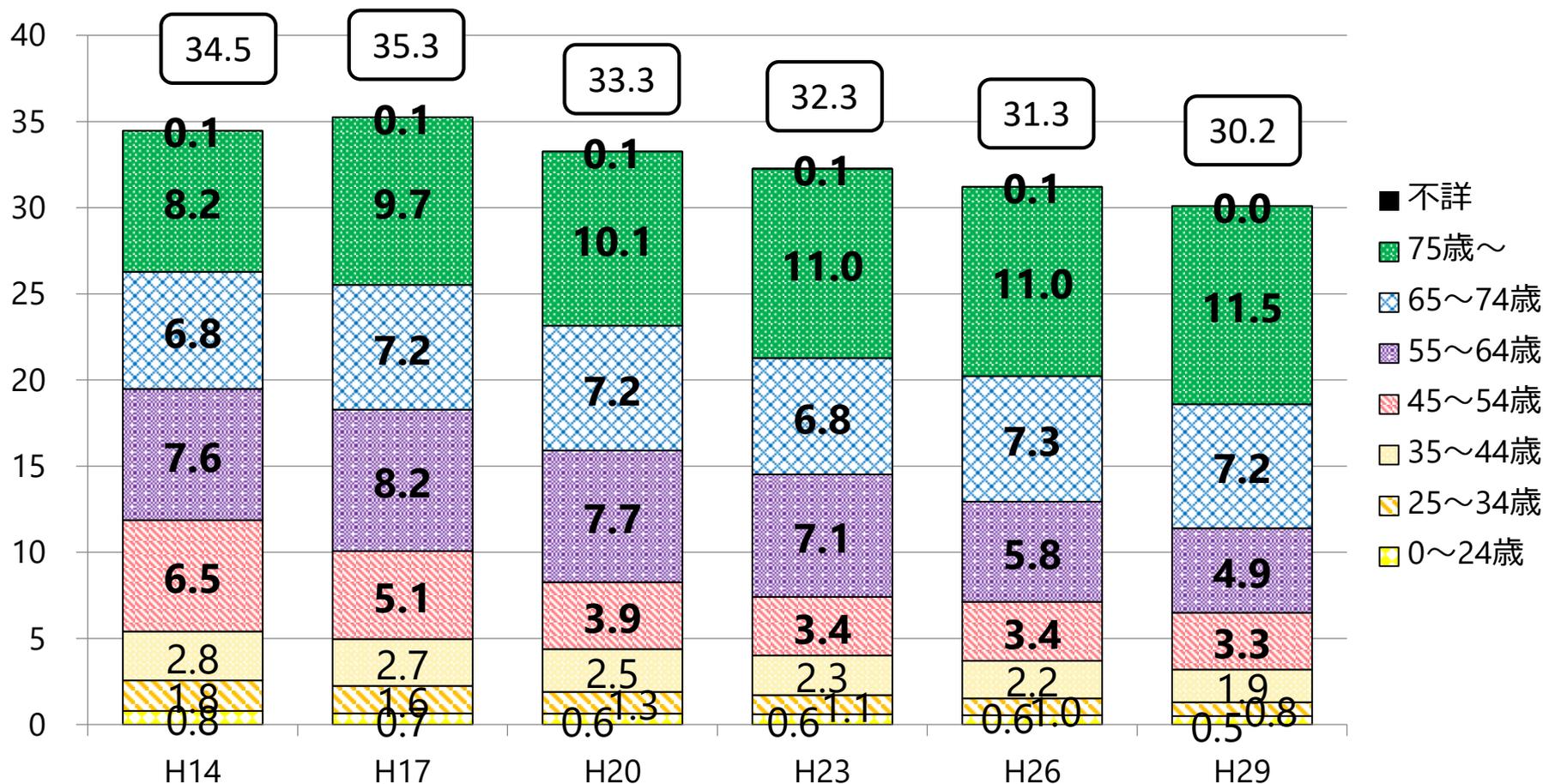
- 精神疾患を有する入院患者の総数は減少している。
- 疾病別にみると割合として最多の疾病は統合失調症であるが、統合失調症の患者数は減少傾向である。
- 認知症（アルツハイマー病）の患者数は増加している。



精神疾患を有する入院患者数の推移（年齢階級別内訳）

○ 精神疾患を有する入院患者数は、年齢階級別では、65歳未満の入院患者数は減少傾向であるが、65歳以上は増加しており、特に後期高齢者（75歳以上）の入院患者数は15年前と比べ約1.4倍と顕著である。

（単位：万人）



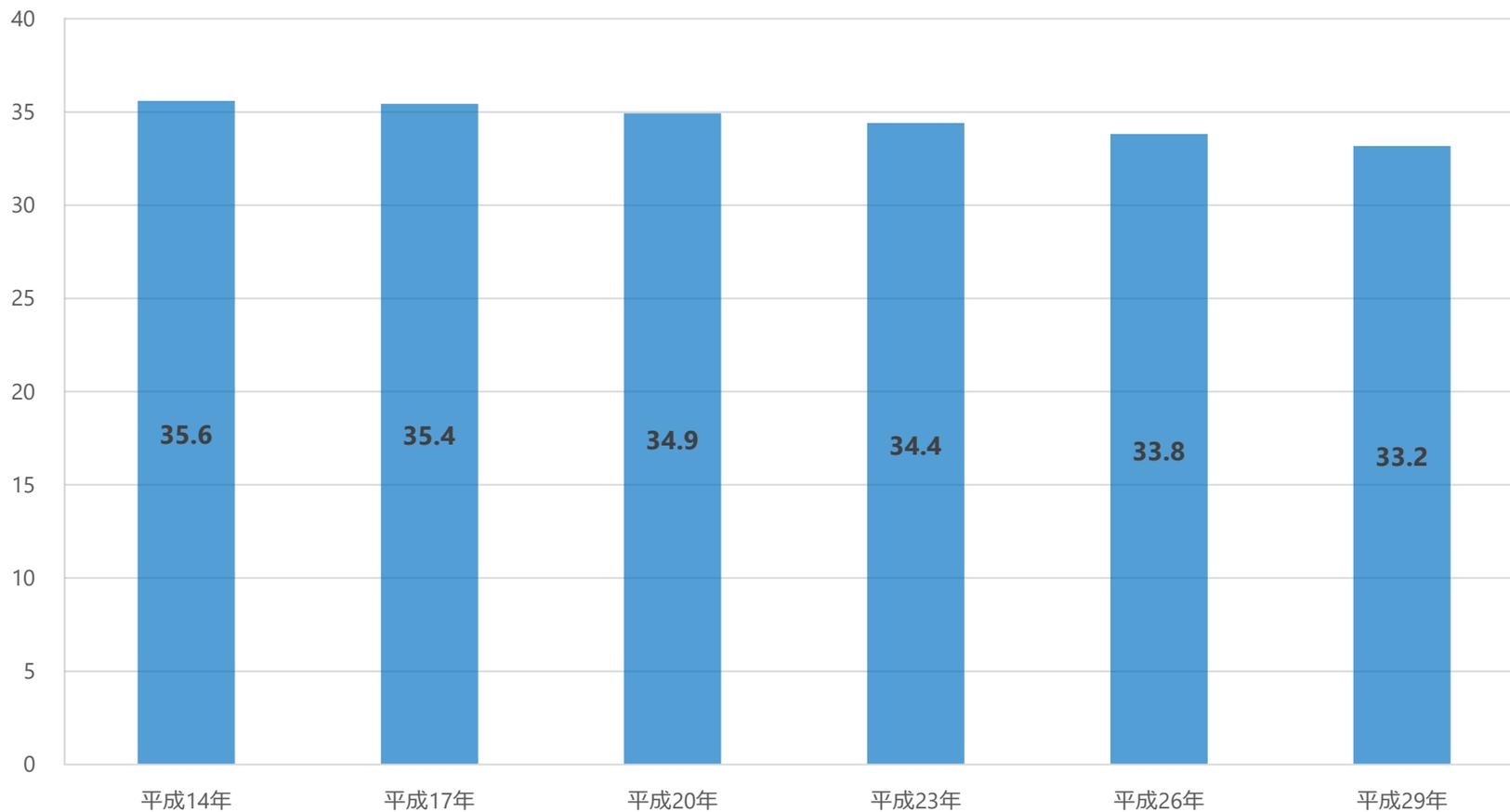
※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている

資料：厚生労働省「患者調査」より作成

精神病床数の推移

- 精神病床数は、減少傾向である。

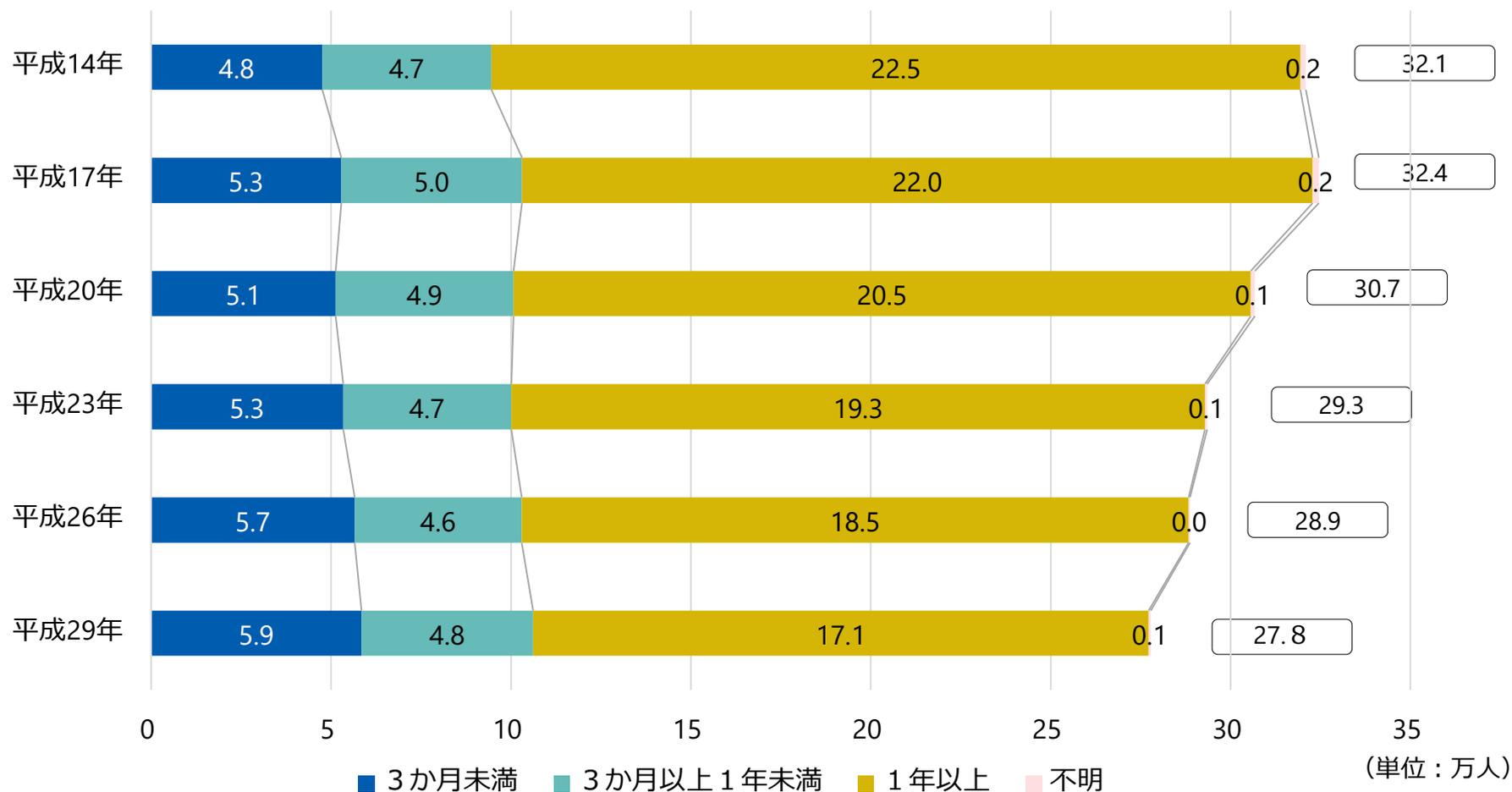
(単位：万床)



精神病床における入院患者数の推移（在院期間別内訳）

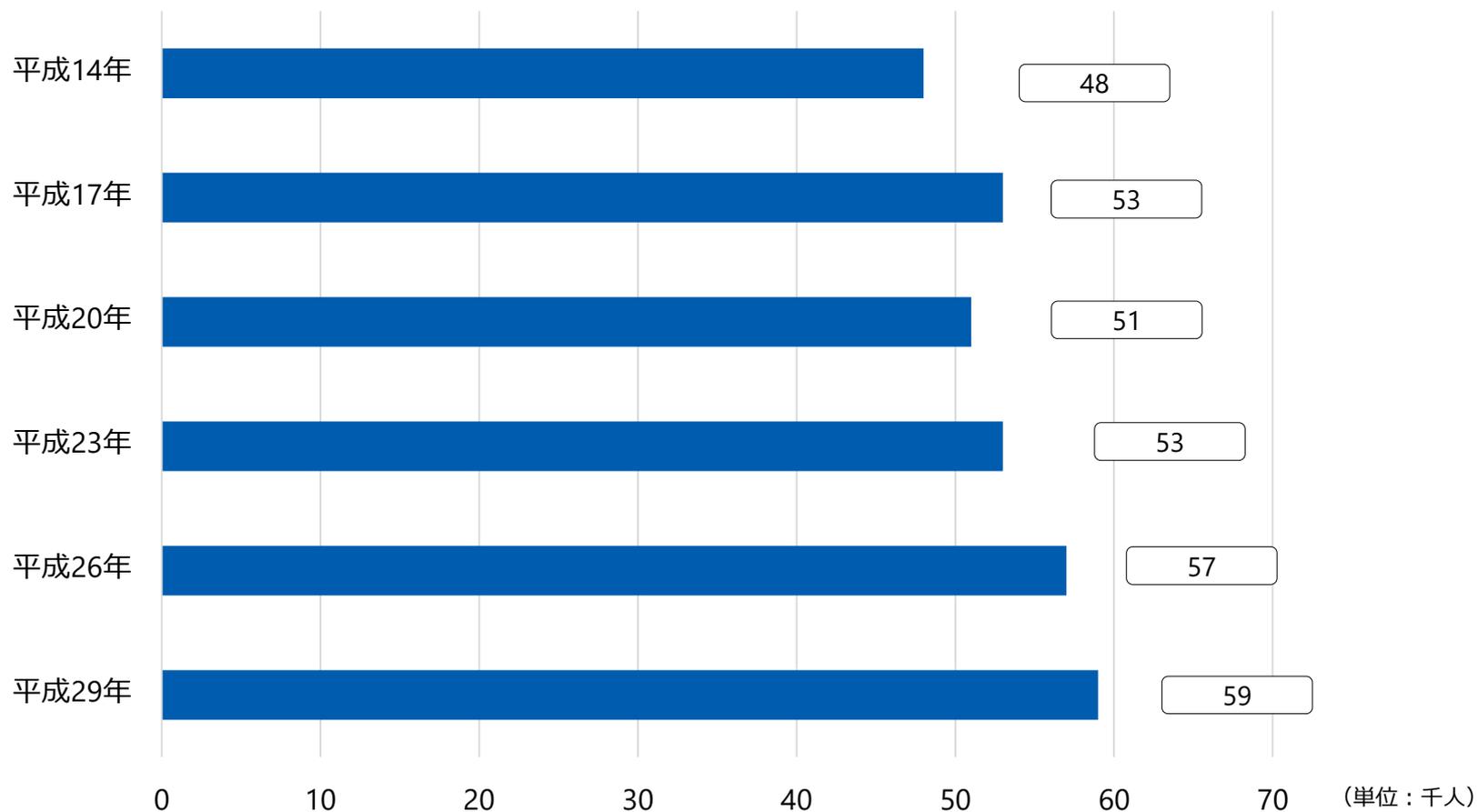
○精神病床における入院患者数は減少傾向にあり、特に1年以上の入院患者数が減少している。

○1年以上の入院患者数は減少しているものの、平成29年では全体の6割以上を占めている。



精神病床における入院患者推移（急性期）

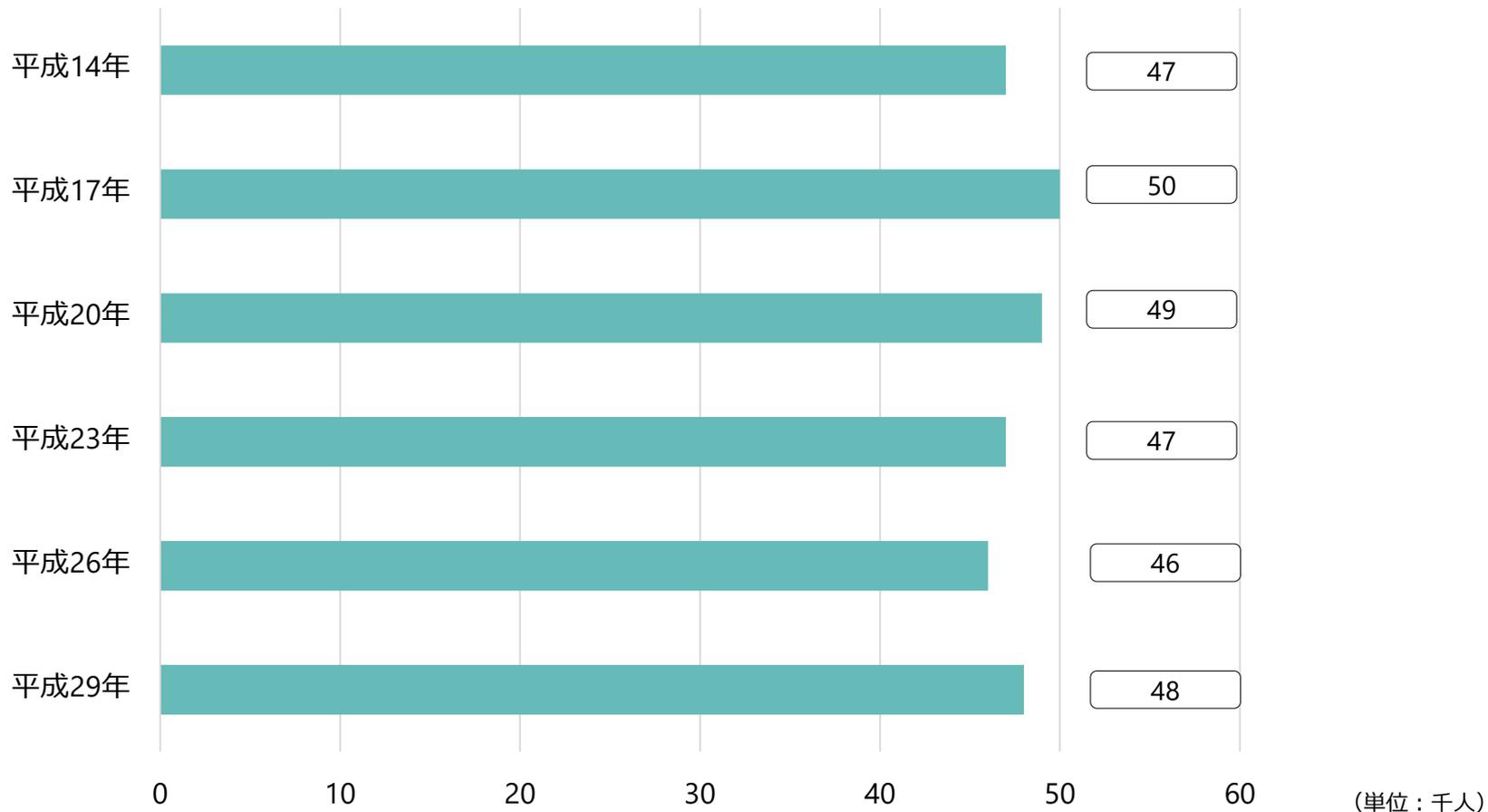
○急性期（入院3か月未満）における入院患者数は、増加傾向である。



※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている
出典：患者調査

精神病床における入院患者数の推移（回復期）

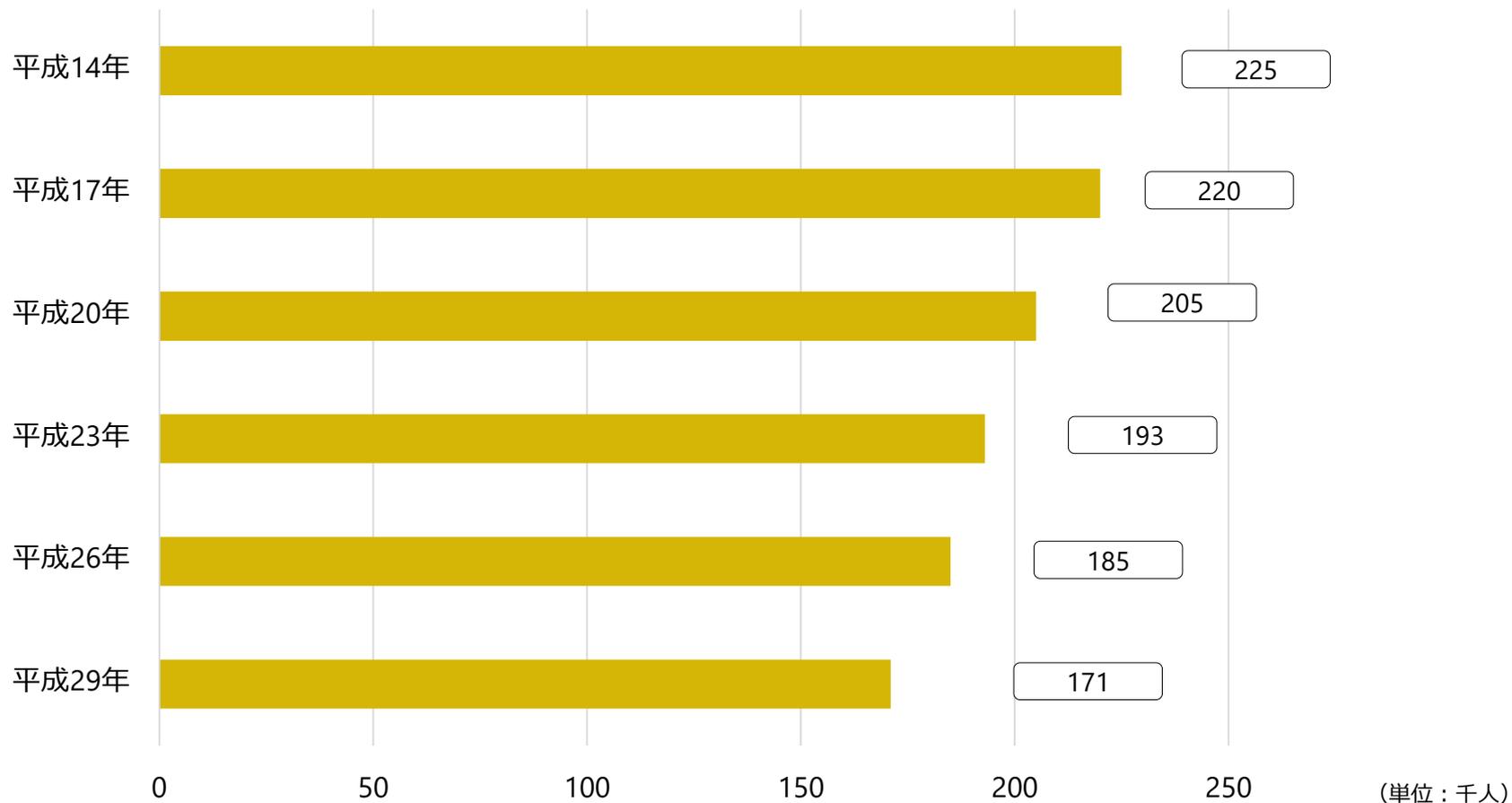
○回復期（入院3か月以上1年未満）における入院患者数は、横ばいである。



※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている
出典：患者調査

精神病床における入院患者数の推移（慢性期）

○慢性期（入院1年以上）における入院患者数は、減少傾向である。



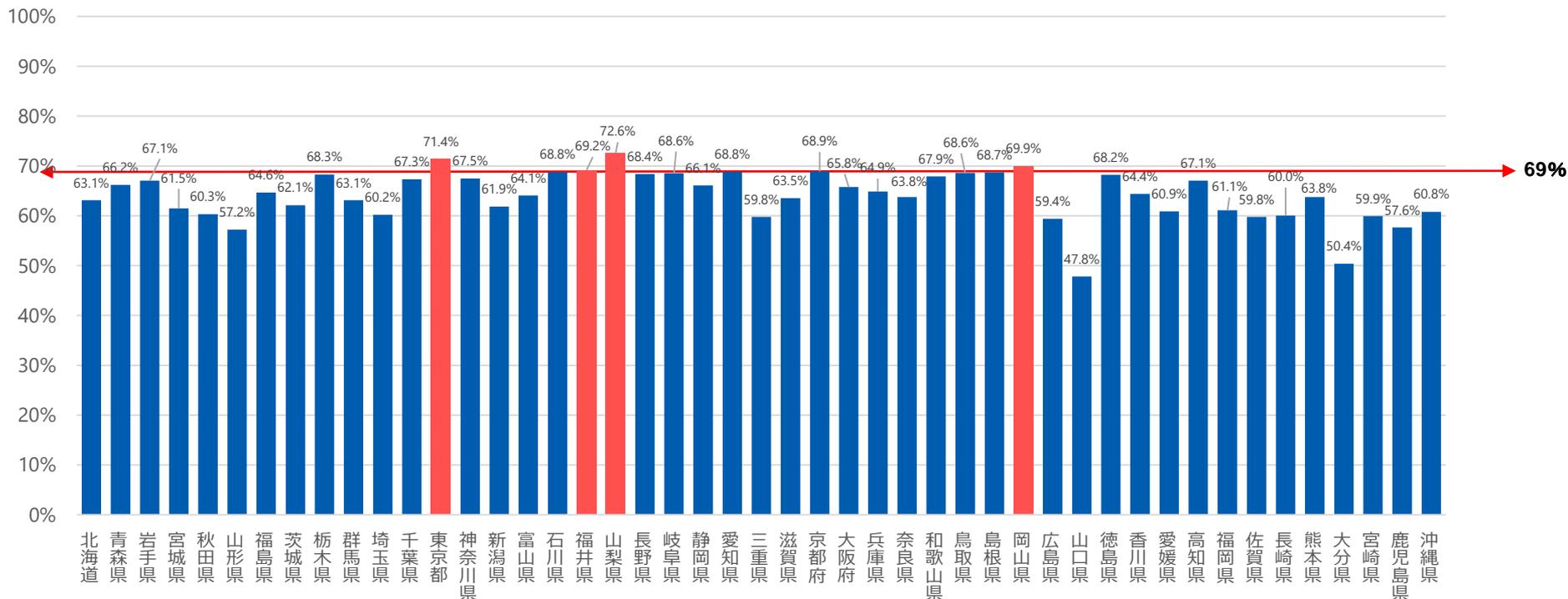
※H23年の調査では宮城県の一部と福島県を除いている
出典：患者調査

精神病床における 入院後3、9、12ヶ月時点の退院率

精神病床における早期退院率（入院後3ヶ月）について

都道府県別 精神病床における入院後3ヶ月時点の退院率(平成28年)

第6期障害福祉計画の目標値については、上位10%の都道府県が達成している値(69%以上)を基本とする。



精神病床における入院後（3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）時点の退院率

=

平成28年3月における精神病床における入院患者における
入院後（3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）時点 退院者総数

平成28年3月における精神病床における入院者総数

(注) 死亡退院者については、分母及び分子から除く。

精神病床における早期退院率（入院後6ヶ月）について

都道府県別 精神病床における入院後6ヶ月時点の退院率(平成28年)

第6期障害福祉計画の目標値については、上位10%の都道府県が達成している値(86%以上)を基本とする。



精神病床における入院後（3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）時点の退院率

=

平成28年3月における精神病床における入院患者における
入院後（3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）時点 退院者総数

平成28年3月における精神病床における入院者総数

(注) 死亡退院者については、分母及び分子から除く。

精神病床における早期退院率（入院後12ヶ月）について

都道府県別 精神病床における入院後12ヶ月時点の退院率(平成28年)

第6期障害福祉計画の目標値については、上位10%の都道府県が達成している値(92%以上)を基本とする。



精神病床における入院後（3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）時点の退院率

=

平成28年3月における精神病床における入院患者における
入院後（3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月）時点 退院者総数

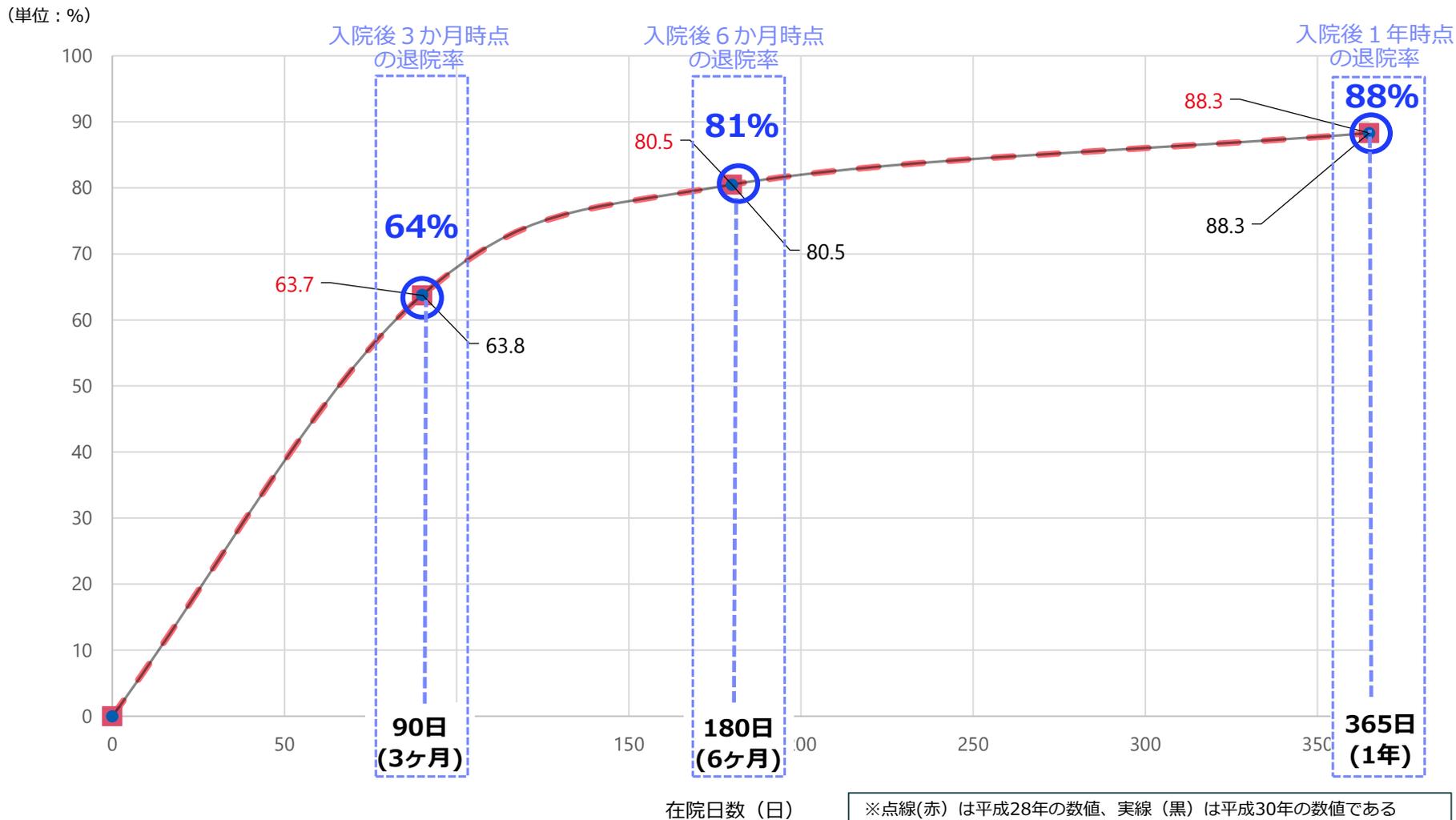
平成28年3月における精神病床における入院者総数

(注) 死亡退院者については、分母及び分子から除く。

出典：令和元年度 厚生労働科学研究「医療計画、障害福祉計画の効果的なモニタリング体制の構築のための研究」（研究代表者：山之内芳雄）からの報告NDBデータを活用して算出

精神病床への入院患者の退院率について

平成28年と平成30年の退院率の傾向は、ほぼ一致する。



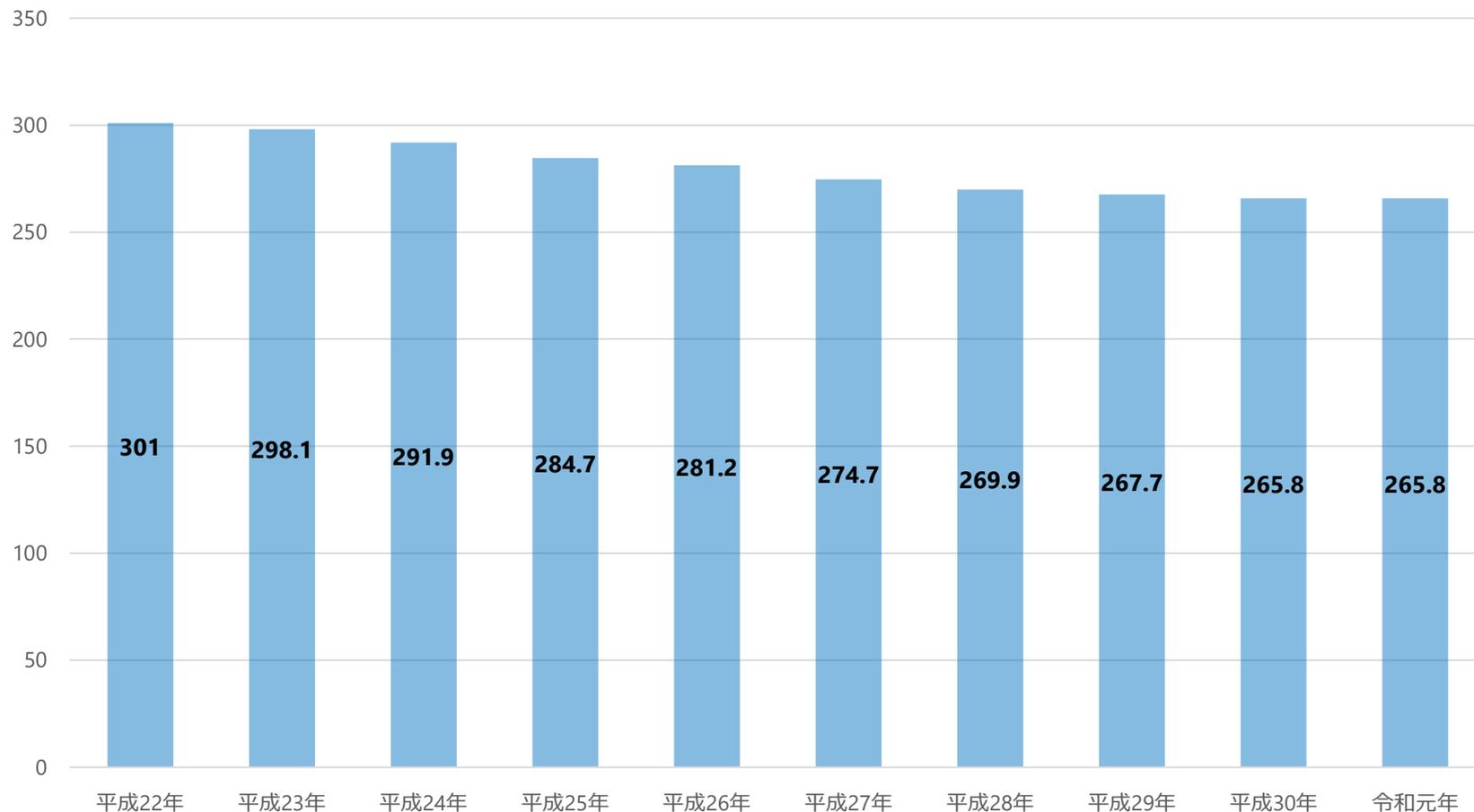
精神病床における平均在院日数



精神病床における平均在院日数の推移

- 精神病床における平均在院日数は、減少傾向である。

(単位：日)



※H23年では岩手県と宮城県、福島県の一部、H28年では熊本県の一部、H30年では広島県の一部を除いている

地域平均生活日数

ひと、くらし、みらいのために

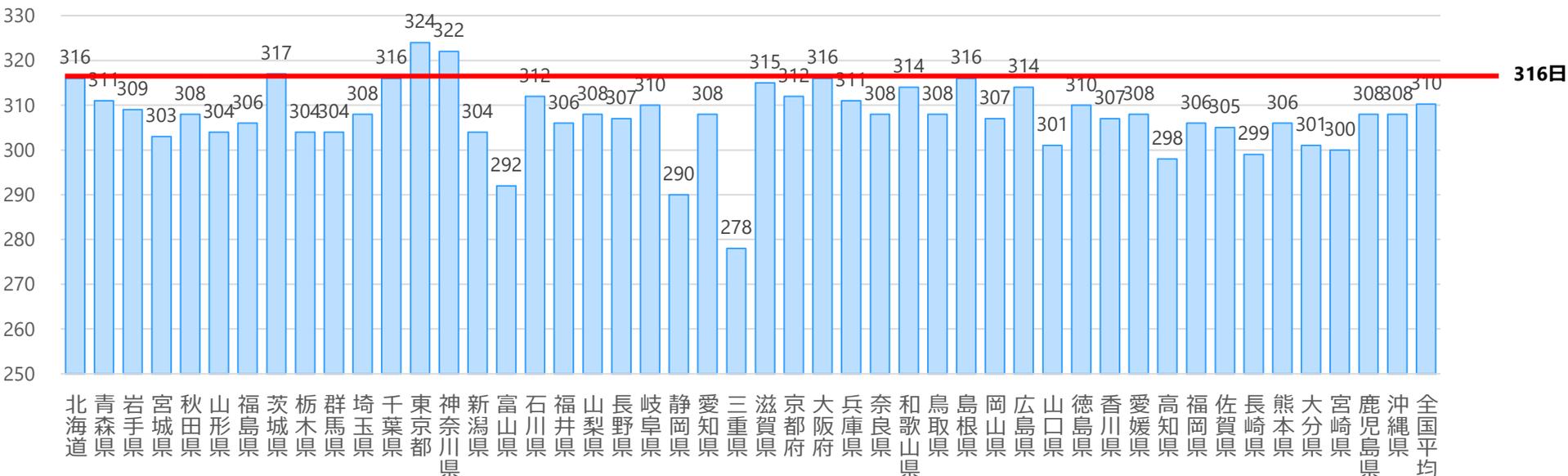


精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域における平均生活日数

精神病床からの退院者（入院後1年以内に限る）退院後1年以内の地域における平均生活日数（平成28年）

第6期障害福祉計画の目標値については、上位10%の都道府県が達成している値（316日以上）を基本とする。

(単位：日)



具体的な計算式

2016年精神障害者の精神病床から退院後1年以内の地域での平均生活日数

=

2016年3月の精神病床からの退院者（入院後1年以内に限る）の退院日から1年間の地域生活日数の合算

2016年3月の精神病床からの退院者（入院後1年以内に限る）総数

- (※1) 医療機関へ入院した日数については、地域生活日数として算出されない。
- (※2) 死亡退院者については、分母及び分子から除外されている。
- (※3) 退院後に死亡が確認された場合は、死亡日以降の日数は、地域生活日数として算出されない。